



ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 30代

03 性別 女性

04 子どもの数 2人

05 子どもの年齢 5歳、1歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、
可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

結婚後しばらくまで絵画教室の講師をしていましたが、今は何もしていません。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？☒ はい ☐ いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

☒ 保育園 ☐ 通常保育 ☒ 一時保育・☒ 認可 ☒ 認可外 ☒ 幼稚園 ☐ ファミリーサポートセンター
☐ その他

下の子は最近、保育園の一時保育に預け始めました。今住んでいる市には、割安な1時間300円で利用できる一時保育のサービスがあって、助かっています。理由を問わず利用でき、親のリフレッシュのためでも大丈夫です。利用できる保育園は、認可・認可外両方とも何か所かあります。今は、保育園に慣れさせるために一日2時間程度預けていますが、ゆくゆくは自分の制作時間を捻出するために、もう少し定期的に預けたいと思っています。ただ、この一時保育は人気があって、予約が月に1、2回しか取れない状態です。どの保育園を希望するのかにもよるのでしょうか、自宅から近いところでないといけないので、実際の預け先は限られます。とはいえ、利用できるのが月に1、2回だったとしても、1日8時間程度預けられるようになったら多少自分の時間が取れるかなと思っています。

制作したいという気持ちは常にあって、描いている方が自分の気持ちも安定するのは分かっているのですが、今それを始めると家事が滞って絶対どこかにしわ寄せがくるので、なかなかできていません。

下のお子さんを次の4月に保育園に入れようとお考えですか？

いいえ。入れられるものなら入れたいのですが、今住んでいるところは激戦区で、選考のための項目を見ただけでも全然加点がなくて入れそうにありません。夫婦ともに自営業で、両親が近くに住んでいるとなると、とても無理だろうなという感じです。

最近、上の子が通っている幼稚園に、年少のひとつ下の2歳児クラスができました。親が送り迎えすれば週に何回か預けられるので、そこに入れたいと考えています。上の子が通っているので、希望すれば選考なしで入れるはずで、満3歳になったら自動的に年少クラスと同じように週5日、無償化対象で通えます。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

- ☒ 保育園や学校に行っている間 ☐ 睡眠時間を削る ☒ 子どもが寝てから ☐ 早朝 ☐ 実家・親に預ける
☒ 配偶者に預ける ☐ 仕事の合間 ☐ 仕事が休みの日 ☒ 捻出できない ☐ その他

10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？
およその時間を教えてください。

- ① 育児：0 時間 → 12 時間
② 作家：3 時間 → 0 時間
③ 仕事：9 時間 → 0 時間

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

場所は変わらず自宅です。ただ、子どもが産まれてからは子どものスペースが必要になったので、制作場所は狭くなりました。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

作風には特に影響していませんが、短時間で集中して描かないといけないので、集中力がつきました。今は、細切れの時間を使ってなんとかやっていますが、最低でも 1 時間はないと、絵の具を出して片付けるまではできません。あらかじめこの時間内で制作するというのを決めて、その間夫に子どもを公園に連れて行ってもらうなどして時間を確保しています。

画材の使い方も少し変わってきて、もともとチューブ式の絵具やインク式の絵具をパレットに出して筆で描くということをやっていたのですが、短時間で描く必要性から、パレットを使わず、インク式の絵具を直接綿布の上に出して、綿布の上で混色して使うようになりました。

それから、20 号以下の小さい作品を多く描くようになりましたね。気持ちとしては、もう少し大きい作品を描きたいのですが、一層描くだけでも時間がかかるし、制作スペースも確保しづらくなりました。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

制作そのものには影響していませんが、コロナが流行って幼稚園が休園になると、子どもが家にいる時間が長くなるので、その分制作時間が削られてしまっている実感はあります。休園のかたちも様々で、何日間か完全に休園になったり、保育時間が短縮されて午前だけの保育になったり、夏季保育がなくなったり、色々ありました。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

先ほど言ったように画材の使い方を工夫している他は、上の子がいる時は一緒に絵を描こうと誘っています。普段アクリル絵具は触らせていないので憧れがあって、使わせてあげると喜んで描いています。長時間はもちませんが、20 分くらいなら何とか遊んでいてくれるので、その間に自分の作業をしたりします。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいいますか？

コロナ禍で人と会うことが難しいので、友人に連絡を取ることが少なくなっていますが、夫がアーティストなので時々相談しています。

それから、同じくらいの年の子どもをもっていて、今はアーティスト活動をお休みしている大学時代の友人たちとは連絡を取り合っています。友人たちも、いずれまたアーティスト活動を再開したいと言っていますが、やっ

ぱり、働いていて保育園に子どもを預けている友人は制作する時間がないし、働いていないで幼稚園に預けている友人はそれはそれで時間がとれなくて制作できないようです。子どもが小学校に行くようになればちょっと手が離れて再開できるようですけれど。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

☐ リサーチ ☒ 制作 ☒ 展示 ☒ ワークショップ ☒ アーティスト・イン・レジデンス ☐ その他

展示が決まったら、それに向けてスケジュールを組み立てて制作していくという風にしたいので、展示するという目標があったほうがいいですね。具体的な目標がないと日々の生活に追われがちですが、展示が決まれば多少無理してでも時間を捻出できるかなという気がします。

実際に昨年、ギャラリーで個展を開催しました。先方からお声がけいただいて会期が決まり、その後第2子の妊娠が分かって、出産後2カ月というタイミングでの展示だったのですが、準備はギリギリでした。産後すぐは制作できる状態ではなくなるというのは分かっていたので、お腹にいる間に仕上げたいと思っていたのですが、つわりがひどく、制作に取り掛かれる状態ではありませんでした。体調が悪く記憶もあまりありません。臨月近くなりお腹が大きくなってからようやく描き出しました。最後は夫と上の子に数日間帰省してもらって時間を作り、集中して作品を仕上げました。振り返ってみれば、展覧会があったから描けたなと思います。なかったら絶対に描いていません。そして、今は2人の子どもを抱えていますが、展示の機会があったらやはり挑戦したいです。

ワークショップは、先日、近所の子どもたちを対象に実施したばかりです。楽しいですし、今の私だから伝えられることもあるのかなと思います。絵画教室の講師を再開するとなると現在の状況では色々大変なのですが、単発のワークショップはまたぜひやりたいですね。

それから、アーティスト・イン・レジデンスにも興味あります。子どもがいたら行きにくいだろうなと思い、子どもができる前に結構応募したんですが、通らなかったんです。今の状況で行くとしたら、家族で受け入れてもらえるところを探す必要がありそうです。今夫に二人の子どもを預けて一人で滞在先に行くのは到底無理ですから。

17 作品制作を継続するためには何が必要だと考えますか？ 特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。

☒ 家族の協力 ☒ ひとりの時間 ☐ 収入 ☐ 美術に関する仕事への就労 ☐ 仲間との存在 ☐ その他

夫は我が家の収入の柱になっていて、時間があればあるだけ制作したいと思っているので、家事や育児を全面的に担ってもらうのは難しい状況です。夫もいろいろとやってはくれますが、細かいことはどうしても私がやることになります。私と夫だと負担の割合は8対2くらいかな。それで、私の不満がたままって爆発することもあります。私が今制作をしても直接収入につながるわけではないので、しょうがないのかなと思います。

18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、 子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。

最近、子どもができた同年代のアーティストが増えていて、その人たちの話は聞くのですが、ちょっと上の世代の話は私はあんまり聞いたことがないんですね。だから、上の世代のアーティストで、子育てと制作を両立している方々の話が聞けたら嬉しいです。実際にどういう風に乗切ったんだろうと参考になります。

あと、地域によって違うとは思いますが、保育園の入れ方なんかも知りたいです。上の子がもう少し小さかった時、周りでは保育園の話をしていたんですが、うちは預けられない。似たような境遇にあるアーティストはどうしているんだろうって思いながら、特に聞けずにいました。

それから、他のアーティストの子どもにぜひ会ってみたいです。うちの子はとても変わっているんですが（笑）、



コロナ禍で人となかなか会えないので、そういう機会があったらおもしろそうだなと思います。

お子さんが小さいうちはなかなか外出しづらいですね。

はい。子どもが少し大きくなってきたり、コロナ禍が落ち着いてきたりで、以前よりは子連れで外出もできるようになってきましたが、ギャラリーに出かける機会は減っています。ベビーカーで入るには入り口が狭かったり、中に入っても限られたスペースだと邪魔になっちゃいそうだなと思ったり、子どもが作品を触りそうで怖かったりで、よほど勝手がわかっていて、大丈夫そうというのが分かるところ以外は遠慮してしまいます。その点、設備の整った美術館であれば、まあ行けるかなと思えるようになってきました。

19 お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？

まだそんなに先まで見通せませんが、常に制作をするというのが普通のペースを取り戻していきたいですね。展示は後からついてくるものだと思うので、まずは制作ができるようになりたいです。